

令和2年北秋田市議会12月定例会行政報告

北秋田市議会12月定例会が開催されるにあたり、8月31日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

9月6日、阿仁合地区一円を会場に秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練が行われました。訓練には、自治会や中学校、阿仁赤十字奉仕団など20団体、約302人の参加・協力をいただき、大規模地震による被害の発生を想定したシェイクアウト訓練や災害医療救護訓練のほか、自主防災組織災害対応訓練、土砂災害避難行動訓練、避難所開設運営訓練などが行われました。特に避難所については、7月に策定した避難所運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）に基づき開設され、防災関係機関の災害対応力の強化と市民の防災意識の高揚が図られました。

令和2年度職員採用試験について、大学卒程度一般行政・建築士・土木技師の第2次試験を9月13日に市役所本庁舎において実施しました。第1次試験合格者15名が受験し、10月16日付けで6名の合格者を告示しております。また、高校卒程度一般行政については、第1次試験を9月20日、第2次試験を10月25日に市役所本庁舎で実施し、第1次試験合格者4名が第2次試験を受験しました。11月9日付けで3名の合格者を告示しております。

なお、大学卒程度一般行政・建築・土木採用試験（後期）を1月9日に予定しており、10月21日から12月18日までの期間で受け付けしております。

<総合政策課関係>

9月1日、新たに移住コーディネーターとして活動する地域おこし協力隊の貝田真紀さん（福島県いわき市出身）へ委嘱状を交付しました。貝田さんは大学院在学中にロシア留学の経験があり、卒業後は外務省勤務ののち、国際教養大学非常勤講師として勤務していました。「移住・定住の活動と併せ、マタギ文化を発信するため狩猟免許を取得し、狩りにも参加したい。森の自然を活用したまちづくり活動も展開したい」などと抱負を述べました。

9月5日と19日の2日間、秋田県事業「人が人を呼ぶ好循環」推進事業に参加し、北秋田市の暮らしが体験できるオンラインツアーを実施しました。このツアーの目的は、地方や地方暮らしに関心のある方と移住者や地域住民が交流するイベントを実施することで、興味や関心を持ってもらい移住を促進するというものです。ワーク（働く）、バケーション（遊びや暮らし）、エデュケーション（教育）の3つを大きな柱として、本市の紹介やゲストへのインタビュー映像を交えながら、本市の魅力やリアルな生活についてトークショーを行いました。5日は51人、19日は36人の参加がありました。

10月1日、新たに移住コーディネーターとして活動する地域おこし協力隊の阿部夏代さん（栃木県那須塩原市出身）へ委嘱状を交付しました。阿部さんは大学を卒業後、首都圏の会社で主に事務職として働いていました。「移住コーディネーターの仕事しながら農業を学びたい。夢は自分の育てた作物を移動販売車で各地域に届けること。買い物に不自由している人のために働き、北秋田市を盛り上げたい」などと抱負を述べました。

10月1日、同じく移住コーディネーターとして活動する地域おこし協力隊の佐藤高博さん（北秋田市米内沢出身）へ2年目の委嘱状を交付しました。佐藤さんは東京で20年以上グラフィックデザイナーとして働いていました。その経験を生かし移住関連の広告用チラシなどの制作をしていただいています。2年目は移住・定住の活動のほかに、北秋田の伝統や文化を題材にした絵本を制作し、移住者や園児、観光客などにも地元の伝統文化をわかりやすくPRするという目標を立てて活動していきます。

10月1日を基準日として、行政運営の基礎となる人口・世帯の実態を明らかにする、国の最も重要な統計である令和2年国勢調査を実施しました。提出された調査内容の精査を行い、12月中旬には県を通じ国へ提出することとなります。調査対象となった皆様のご協力に感謝いたします。

10月10日と11日の2日間、認定NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催する「ふるさと回帰フェア2020」（オンライン）に出展しました。約300団体が出展し、全体参加者数は15,436人でした。本市のPR動画を配信し、北秋田の暮らしや魅力を発信しました。

令和2年度行政評価委員会を10月19日、10月30日、11月10日の3日間、第2回から第4回までの委員会を開催し、事務事業の評価を行いました。また、11月27日の第5回委員会では、これまで評価した事務事業の総括を行いました。

10月25日、あきたまるごとオンラインフェス実行委員会が主催する「あきたまるごとオンラインフェス」が開催され、本市の祭り、文化、自然や人、食などをZoomやYouTubeでオンライン配信し、市の魅力や移住促進施策について発信しました。

大館能代空港の利用促進を図るため、搭乗者数が落ち込む閑散期対策に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者の回復を図ることを目的に、11月から来年3月までの期間において、同空港を利用する市民への運賃助成を開始しました。

11月20日、第2回第2次北秋田市総合計画後期基本計画策定委員会を開催し、後期基本計画の素案に対し、ワークショップ形式で検討し意見が取りまとめられました。出された意見等については、今後、貴重な意見提言として計画に反映させてまいります。

11月28日、令和2年度「市長と語ろう！タウンミーティング」について、『高校生・移住者らと語る北秋田市について』をテーマとして、トラ男プロデューサーの武田昌大さんをファシリテーターに迎え、市民ふれあいプラザにおいて開催しました。若者や移住者らの意見を今後のまちづくりに反映させるため、市内で生まれ育った高校2年生8名と車座になり、市に対して考えていることや感じていること、外から見た北秋田市などを本音で語り合い、一般傍聴者からも意見を述べてもらうなど、来場者参加型の活発なディスカッションが行われました。

<内陸線再生支援室関係>

10月4日、第24回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会「もみじカップ」が鷹巣陸上競技場で開催され、県内の小学生9チーム、139人により熱戦が繰り広げられました。選手及び保護者の移動については内陸線をご利用いただいております。

例年9月から10月に開催している「秋田内陸線グラウンド・ゴルフ大会」と「ごっつおまつり」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっております。

感染症の影響で利用者が激減している秋田内陸線を支援するために8月から9月にかけて実施した「内陸線に乗って、田んぼアートの迫力を体感キャンペーン！（北秋田市・仙北市民限定）」では、2,398人の沿線住民が内陸線に乗車し、沿線の旅を楽しみました。また9月から10月にかけて実施した「秋田内陸線フリーきっぷプレゼントキャンペーン（東北在住者限定）」では、延べ465人の申し込みがあり、どちらのキャンペーンも予算上限に達するほど好評を博しました。キャンペーン利用者を対象としたアンケートでは、沿線両市や県、国で実施した「観光文化施設の無料招待」「宿泊料補助」「Go To トラベル」等の支援事業との相乗効果も相当程度確認できました。

上記キャンペーンの集客に大きく貢献しました「田んぼアート」の稲刈りは、10月上旬に地域住民のご協力のもと行われ、大変好評だったことから作業員一同、来年への期待もふくらみ、士気高く作業を終了することができました。

財 務 部

<財政課関係>

令和2年8月1日から令和2年10月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表			
※500 万円以上（消費税含む）		令和 2 年 8 月 1 日～令和 2 年 10 月 31 日	
工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
避難所用ワンタッチ間仕切り	R 2 . 10 . 5	12, 298	(株)秋北文具
総務部 1 件		12, 298	
林道改良事業 橋梁詳細設計業務委託（奥見内線・奥見内 1 号橋）	R 2 . 8 . 6	5, 138	(株)オオバ秋田営業所
林道改良工事（孫七沢線）	R 2 . 8 . 7	27, 115	(有)宗和
経営管理権集積計画作成業務委託	R 2 . 9 . 10	5, 610	(株)ナカノアイシステム秋田支店
防災重点ため池ハザードマップ作成業務	R 2 . 10 . 1	14, 575	創和技術(株)北秋田事務所
産業部 4 件		52, 438	
北秋田市公共下水道効率的事業計画策定業務委託（鷹巣処理区）	R 2 . 8 . 6	9, 570	(株)日水コン秋田事務所
北秋田市公共下水道効率的事業計画策定業務委託（米内沢処理区ほか）	R 2 . 8 . 6	5, 720	オリジナル設計(株)秋田事務所
道路改良工事（その他市道 綴子家の下線） 2 工区	R 2 . 8 . 6	102, 630	朝日建設(株)
道路改良工事（その他市道 綴子家の下線） 3 工区	R 2 . 8 . 6	23, 320	かつら造園建設(株)
道路改良工事（その他市道 綴子家の下線） 橋梁下部工	R 2 . 8 . 6	45, 980	(有)丸栄建設
余剰汚泥ポンプ（No. 2-1, 2-2）修繕	R 2 . 8 . 27	6, 820	大館桂工業(株)北秋田営業所
橋梁補修工事（坊沢大橋）【1 工区】	R 2 . 8 . 27	89, 650	秋田土建(株)
橋梁補修工事（坊沢大橋）【2 工区】	R 2 . 8 . 27	109, 120	秋田土建(株)
橋梁補修工事（坊沢大橋）【3 工区】	R 2 . 8 . 27	111, 320	(株)佐藤庫組
橋梁補修詳細設計業務委託（越鳥橋）	R 2 . 9 . 10	5, 220	東日設計コンサルタント(株)秋田支店
橋梁補修詳細設計業務委託（苗代沢橋）	R 2 . 9 . 10	5, 308	東日設計コンサルタント(株)秋田支店

橋梁補修詳細設計業務委託（小様橋）	R 2 . 9 . 10	5,143	(株)福山コンサルタント秋田営業所
北部1号幹線工事（鷹巣処理区その4）	R 2 . 9 . 10	46,090	(株)津谷組
排水維持工事（その他市道 梅栄線）	R 2 . 9 . 10	7,128	(有)合川水道施設工業所
トンネル補修工事（小様トンネル）	R 2 . 9 . 10	29,977	(有)片岡電気工事
橋梁補修工事（坊山橋）	R 2 . 10 . 1	35,530	ほくよう建設(株)
橋梁補修工事（日景橋）	R 2 . 10 . 15	25,410	(株)佐藤庫組
橋梁補修工事（羽立橋）	R 2 . 10 . 15	32,450	(株)佐藤庫組
河川維持工事（準用河川 小摩当川）	R 2 . 10 . 29	6,545	(有)千葉建設
建設部 19 件		702,931	
北秋田市立学校9校ICT環境整備業務委託	R 2 . 8 . 6	74,800	日興通信(株)秋田支店
合川公民館改築工事实施設設計業務委託	R 2 . 8 . 6	25,652	M's 設計室
(仮称)統合小児童クラブ新築工事(建築工事)	R 2 . 8 . 6	68,090	(株)小坂工務店
(仮称)統合小児童クラブ新築工事(電気設備工事)	R 2 . 8 . 6	12,265	岩川電気(株)
(仮称)統合小児童クラブ新築工事(機械設備工事)	R 2 . 8 . 6	23,045	(有)中嶋施設工業
合川駅前公民館解体工事	R 2 . 8 . 6	58,740	(株)佐藤庫組
合川公民館解体工事	R 2 . 8 . 6	105,380	(株)佐藤庫組
学習者用コンピュータ	R 2 . 8 . 24	71,943	東光コンピュータ・サービス(株)北秋田営業所
教育委員会 8 件		439,915	
合計 32 件		1,207,582	

地籍調査事業については、令和元年度に実施した伊勢町の一部、旭町及び花園町について地籍簿及び地籍図の案を作成し、11月5日から11月24日までの20日間、本閲覧を実施しております

市民生活部

<生活課関係>

秋の全市一斉のクリーンアップが10月18日に開催されました。春のクリーンアップは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしましたが、当日はマスクの着用など感染防止を図りつつ、各自治会・町内会から4,110名の皆様の参加により、環境美化にご協力をいただきました。

古着、古布と水銀製品の無料回収事業については、10月3日、4日、10日の計3日間、本庁舎と各総合窓口センター3カ所で実施し、290世帯からご協力をいただきました。

全国地域安全運動が10月11日から20日まで実施されました。運動開始に先立ち、10月9日に北秋田警察署において防犯協会、防犯指導隊、少年保護育成委員会など関係団体による出動式とパレードが行われ、地域住民へ安全・安心なまちづくり活動の推進について呼びかけました。

男女共同参画社会づくり講座を10月13日に阿仁公民館において開催しました。「夫婦の絆」をテーマとした講演には、あきたF・F推進員をはじめ、一般、事業所、人権擁護委員、各地区婦人会など78名が参加し、夫婦愛や親子愛、共に協力して働くことについて学びました。

市民提案型まちづくり事業の第2回審査会が10月27日に開催され、1団体が採択されました。コロナ禍による事業自粛の影響などにより、本年度の採択は2団体となりました。

<市民課関係>

令和2年10月末現在の住民登録者数は30,968人(内外国人173人)で、その内訳は、男14,551人(同24人)、女16,417人(同149人)、世帯数は13,984世帯(内外国人を含む世帯165世帯)となっております。前年同期に比べ、住民登録者数が587人の減少、世帯数が52世帯の減少となっております。

マイナンバーカードについては、10月末現在で交付枚数が5,597枚となっております。交付枚数の人口に占める割合は、18.1%となっております。

国民健康保険については、令和2年10月末現在の被保険者数は6,622人、加入世帯数は4,569世帯で、前年同期に比べ、被保険者数が173人の減少、加入世帯数が86世帯の減少となっております。

後期高齢者医療については、令和2年10月末現在の被保険者数は7,740人で、前年同期に比べ、102人の減少となっております。

健康福祉部

<福祉課関係>

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する「子育て世帯への臨時特別給付金」については、支給対象者 1,588 世帯 2,711 人へ 27,110,000 円を支給いたしました。

<高齢福祉課関係>

9月に開催を予定していた敬老式については、全地区において中止とし、白寿及び米寿を迎えた方々へ祝い品をお届けしました。

福祉の雪事業については、除排雪や雪下ろし等により冬期間の在宅生活の支援のため、10月から利用者の申請受付と事業者の登録を行っております。

認知症初期集中支援チーム検討委員会については、10月7日に市民ふれあいプラザにおいて委員会を開催しました。5名の方々に委嘱状を交付した後、認知症初期集中支援チームの取組の説明と検討委員の役割について協議を行いました。

生活支援サポーター養成講座については、9月4日から25日まで計4回、市民ふれあいプラザで開催し、10名の参加者が生活援助技術や介護予防について学びました。

介護保険については、10月末現在の要支援・要介護認定者数が2,795人（前年同期比13人増）で、そのうちサービス受給者は2,472人（前年同期比14人減）、認定に対する受給率は88.4%（前年同期比1.0%減）となっております。

<医療健康課関係>

健康増進事業については、今年度2回目の市民ウォークを阿仁鉱山ウォークとして10月9日に実施し、48人が参加しウォーキングしながら日頃の運動の習慣づけになるよう努めております。

成人検診事業では「ホリデー検診」「追加検診」として10月18日、19日に特定健診及びがん検診を実施しました。検診前には電話や通知による受診勧奨コールリコールを行い、検診受診を勧めております。

心の健康づくり事業については、内陸線を利用し9月25日に「心の絆号」を運行しました。20人が参加し、列車内でギター演奏による合唱や笑いヨガなどを実施し交流しております。また、10月14日に北鷹高校を会場に「若者の生きる支援講演会」として、秋田大学准教授の佐々木久長氏による「ひとつの命を支える学び～自分のいのちは誰のもの？」と題する講演を開催し、高校生64人が参加しております。さらに、「児童・生徒のSOSの出し方に関する教育」として、11月2日に森吉中学校63人、11月16日に鷹巣中学校118人の生徒を対象に困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育を実施しております。

食育推進事業として、10月3日に市民ふれあいプラザにおいて「食育フェスタ」を開催しました。「今こそ活かすみそ汁のある食卓」と題し、食育指導師・みそソムリエの小山明子氏による特別講演を実施し、111人が参加しております。また、講演の前には、むし歯のない5歳児の表彰と75歳以上のよい歯の認定式を行っております。

北秋田仮設診療所設置運営事業については、開所期間を7月15日から10月28日までとしておりましたが、令和3年3月31日まで延長しました。引き続き関係機関と連携のもと、新型コロナウイルスに伴うPCR検査の検体採取ができる体制を整えております。

<診療所関係>

8月から10月までの市立3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科1,963人で前年同期対比75人(3.8%)の減、外科2,128人で前年同期対比32人(1.5%)の減、歯科870人で前年同期対比100人(13.0%)の増となっております。次に、合川診療所では1,684人で、前年同期対比144人(7.9%)の減となっております。次に、米内沢診療所では、内科3,450人で前年同期対比180人(5.5%)の増、小児科516人で前年同期対比82人(18.9%)の増、整形外科766人で前年同期対比82人(12.0%)の増、脳血管外科114人で前年同期対比20人(14.9%)の減、心臓血管外科11人で前年同期対比9人(45.0%)の減となっております。今後も、地域住民の医療と健康を守るため安定した診療所運営を心がけてまいります。

阿仁診療所改築事業については、リハビリ棟改修工事と解体工事が11月に完成しております。外構工事については、10月末までの進捗率が23%で計画どおり進行している状況であります。

産 業 部

<農林課関係>

今年の水稲については、東北農政局によると、10月15日時点における県北の10アール当たり予想収穫量は、前年比6キログラム増の587キログラム、作況指数は全県と同じ105の「やや良」となりました。

今年度の青果物について、野菜は、全国的な天候不良により販売量は減少したものの単価は高く、販売額は概ね平年並みであり、花きは、コロナ禍でのイベント中止により販売量・販売額ともに減少しました。

今年度の経営所得安定対策については、299件の加入・交付申請がありました。「水田活用の直接支払交付金」は戦略作物助成と産地交付金を合わせて6億8千万円、「畑作物の直接支払交付金」は1億4千万円で、総額8億2千万円の交付となる見込みです。

林道の維持管理については、3路線4箇所（浦支内線、小倉沢線、もりよし線2箇所）の工事が完了し、車両等の通行が確保されております。

鳥獣被害対策については、11月20日現在で昨年と比較すると、クマの捕獲申請件数で4件増の58件、捕獲頭数で6頭増の44頭となっており、全国的にも例年以上のクマの出没が報告されているなか、当市においても同様の結果となっております。

< 商工観光課関係 >

特産品開発については、提案公募型特産品活性化事業による新たな特産品の募集を行い、1事業者から応募があり、9月18日に審査会を開催し1品を特産品として認定しております。

商工振興については、10月21日に「市と商工会との意見交換会」を開催し、市からは緊急経済対策事業実績報告、商工会からは事業遂行状況報告などコロナ禍における事業者支援施策や地域産業振興施策について意見交換を行いました。

地場産業振興と事業者間の交流を図るため、10月24日、25日に予定をしておりました第14回北秋田市産業祭については、コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み延期としております。

また、特産品販売促進事業として観光PRも兼ねて参加しておりました「板橋区民まつり」、ハッピーロード大山商店街「秋の北秋田市イベント」、茨城県土浦市の「日立建機フェスティバル」、友好交流都市国立市の「第55回天下市と秋の市民まつり」についても相次いで中止及び延期となっております。

企業誘致関係については、11月26日に「北秋田市誘致企業懇談会」を開催し、市内誘致企業から11社が参加し、秋田県産業技術センター技術フェロー赤上陽一氏の講演や意見交換等を行いました。

紅葉時期の観光振興については、コロナウイルス感染症の影響が心配されておりましたがGo Toキャンペーンの効果もあり、10月の森吉山阿仁ゴンドラの利用客数は9,311人（昨年7,826人）で昨年度より1,485人の増となっております。太平湖遊覧船の利用客数は、団体客が減少したため1,277人（昨年2,297人）で昨年度より1,020人の減となっており、11月3日をもって今年度の営業を終了しております。各施設の関係者の皆様にはコロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら、誘客にご尽力をいただきました。

「くまくま園」は、今年度のゴールデンウィークを休園し5月11日に開園を迎え、11月3日をもって今年度の営業を終了しております。来園者は21,763人（昨年18,289人）と昨年度より3,474人の増となっており、7月から8月の無料招待事業とその宣伝効果が大きく影響したものと考えております。

参考1：地点別10月入込数

単位：人

	平成30年10月	令和元年10月	令和2年10月
阿仁スキー場	9,311	7,826	9,311
太平湖・小又峡	1,914	2,297	1,277
くまくま園	2,265	2,118	2,672

参考2：くまくま園

単位：人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (GW4/29～5/10 休園)
くまくま園	17,899	18,289	21,763

<新型コロナウイルス感染症緊急経済対策室関係>

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策については、10月12日に緊急経済対策会議を開催し、市内の経済や各種団体から近況について情報提供をいただき、今後の対策について意見交換を行いました。

市独自の緊急経済対策として、市内店舗の事業継続と更なる消費活性化を図るため実施しております「冬のスーパープレミアム付応援チケット事業」については、プレミアム率を夏と同様の50%とし、今回はお買い求めいただきやすいよう、1セット5,000円で7,500円分のチケットを1世帯10セットまで購入できるものとして、10月30日まで購入申し込みを受け付けしました。

13,995世帯中51.73%の7,239世帯から63,654セットと前回は上回る世帯の方々から申し込みをいただき、11月18日より鷹巣体育館（市役所第二庁舎）ほか5カ所の窓口にて販売し、同日から利用いただいております。市民の皆様にはこの機会に多くの店舗で有効にご利用いただき、市内の消費活性化に繋がることを期待しております。

12月1日から始まっております「冬の宿泊者半額応援事業」については、16の宿泊施設にご参加をいただいております。2月28日までの期間で予定しております。Go Toキャンペーンや県のプレミアム宿泊券との併用や、1月9日から始まります森吉山樹氷鑑賞との相乗効果により多くの方々が北秋田市を訪れることを期待しております。

建設部

<都市計画課関係>

南鷹巣団地建替事業については、建築本体工事（2棟7戸）及び外構工事が完成し、供用を開始しています。また、解体工事（3棟12戸）に係る工事請負契約を締結し、工事を進めています。

令和2年10月29日に、国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所から、日本海沿岸東北自動車道「蟹沢IC～大館能代空港IC」間が、令和2年12月13日（日）15時に開通との発表がありました。

公共下水道事業については、鷹巣処理区で舗装復旧工事2件、米内沢処理区で施設統廃合整備工事1件が完成し、新たに、鷹巣処理区で面整備工事1件を発注しております。

また、公共下水道管路調査業務委託、公共下水道マンホール腐食調査業務委託、合川地区不明水調査業務委託の3件が完了しております。

受益者負担金に係る収納対策の取り組みとして、9月15日から17日までの3日間、夜間も含めて「納付相談会」を実施しております。

<建設課関係>

令和2年8月1日から令和2年10月31日までの道路関係工事発注及び完成状況は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表	
令和2年8月1日～令和2年10月31日	
工事名または業務名等	
道路維持工事（2級市道 大印ノロ川線）	排水維持工事（その他市道 梅栄線）
道路維持工事（その他市道 東ノ又線）	道路維持工事（2級市道 大印ノロ川線）
交通安全施設工事 （2級市道 大畑～葛黒線）	
道路等維持工事 5件	
道路改良工事（その他市道 綴子家の下線） 2工区	道路改良工事（その他市道 綴子家の下線） 橋梁下部工
道路改良工事（その他市道 綴子家の下線） 3工区	
道路改良工事 3件	
橋梁架替詳細設計業務委託（三両橋）	橋梁架替詳細設計業務委託 （第二木戸石橋）

橋梁補修詳細設計業務委託（越鳥橋）	橋梁補修詳細設計業務委託 (十二ノ沢1号橋)
橋梁補修詳細設計業務委託（苗代沢橋）	橋梁補修詳細設計業務委託（小様橋）
トンネル補修工事（小様トンネル）	橋梁補修工事（坊沢大橋）【1工区】
橋梁補修工事（坊沢大橋）【2工区】	橋梁補修工事（坊沢大橋）【3工区】
橋梁補修工事（坊山橋）	橋梁補修工事（日景橋）
橋梁補修工事（羽立橋）	
防災・安全交付金事業 13件	

工事等完成一覧表	
令和2年8月1日～令和2年10月31日	
工事名または業務名等	
舗装維持工事（その他市道 高森岱～公園線）	道路維持工事（その他市道 七日市中町線ほか）
道路維持工事（2級市道 大畑～葛黒線）	道路維持工事（1級市道 向田喜鶴線）
道路等維持工事 4件	
道路改良工事（その他市道 寄延沢線）	道路改良工事 (その他市道 綴子家の下線) 1工区
道路改良工事（2級市道 摩当～大沢線）	
道路改良工事 3件	
地質調査業務委託（第二木戸石橋ほか）	橋梁補修詳細設計業務委託（小又橋）
トンネル補修工事（根子トンネル）	根子トンネル迂回路整備工事
防災・安全交付金事業 4件	

水道局

<水道課関係>

9月15日から17日において、水道料金の納付に関する相談会を実施しております。

10月19日、市民ふれあいプラザにおいて、官民連携と広域連携をテーマにした水道事業広域連携セミナーを開催しております。

建設改良事業については、打当地区配水管布設工事、増沢地区給水管路舗装復旧工事、森吉地区2施設の解体工事が完成しており、戸鳥内地区配水管布設工事及び小又橋添架管補修工事実施設計委託を発注しております。

消防本部

<常備消防関係>

8月から10月末までの火災の発生状況及び消防活動については、建物火災（非住家部分焼）が1件発生しております。救急出場は402件で、急病が288件と最も多くなっております。救急救命士の行った医療処置は、血管確保が20件、薬剤投与が7件、気管挿管が4件となっております。また、ドクターヘリによる三次医療機関への搬送は3件となっております。救助出場は12件で、内交通事故が10件となっております。

訓練については、秋田県消防協会大館北秋田支部が主催する総合防災訓練が、9月6日に阿仁合地区を会場に実施されました。地域住民や阿仁中学校生徒、関係団体及び機関など20団体延べ302名の参加のもと、シェイクアウト訓練、災害医療救護訓練、土砂災害対応訓練、自主防災組織による避難所開設運営等各種の訓練を行いました。

9月8日、秋田北空港クラシックゴルフ場でコース内からの救急患者搬送連携訓練を行い、ゴルフ場職員との連携を図ることができました。

10月5日、大館能代空港で航空機救難総合演習を行い、空港管理事務所及び空港関連事業所と消防本部が合同で消火、救難訓練を実施し、互いの連携や役割等を確認することができました。

10月26日、北秋田市民プールで施設職員の協力のもと、化学災害事故対応訓練を行い、化学物質による有毒ガス発生時の対応や安全措置、密閉空間からの救出方法など互いの役割や連携などを確認することができました。

秋の火災予防運動については、11月1日から7日まで実施し、初日は市内4か所で地震や火災を想定した避難誘導等の訓練や防災講話などを行いました。訓練では住民の皆様に初期消火や応急救護、避難誘導などの手順を確認していただきました。

<非常備消防関係>

秋の叙勲については、長年にわたる消防団での功績が認められ、元北秋田市消防団分団長の堀口裕咲氏（米内沢）と鈴木慶勝氏（戸鳥内）が瑞宝単光章を受賞しました。

防火水槽設置事業については、脇神宇南陣場岱のフードセンターたかのす地内に1基新設しております。

秋の火災予防運動週間の行事については、初日に消防団員の研修会を森吉総合スポーツセンターで開催し、ポンプ操法やホース延長、ロープ結索などの実践訓練を行いました。また、森吉コミュニティセンターでは、消防本部職員が講師を務め消防団員特別教育を開催し、地域における消防団員と地域防災組織の関わりについて講習を行いました。高齢者宅からの出火防止を図るため、各地区の消防団員による世帯訪問を実施し、訪問先では住宅用火災報知器の設置状況を聞き取りするほか、火気器具の取扱い等火災予防に関する指導を行うとともに、相談などにも応じました。

教育委員会

<総務課関係>

令和2年度第2回総合教育会議を11月26日に開催し、今年度の事業執行状況と教育施策について意見交換を行いました。

学校施設の整備については、教室環境の改善として小学校エアコン設置工事、感染症対策として各学校の洗面所自動水栓等設置工事を発注しております。また、来春開校予定の清鷹小学校の校舎として使用する統合鷹巣中央南小学校大規模改造工事は年度内完成に向け、順調に進捗しております。

<学校教育課関係>

「秋田県学校関係緑化コンクール」において、鷹巣中学校が学校環境緑化の部で秋田県森と水の協会会長賞を受賞しました。また、第69回秋田県発明展において、本市から出品した3名の児童作品が入賞し、そのうち秋田県知事賞を受賞した2名の児童作品は第79回全日本児童発明くふう展に応募されることとなりました。

各小・中学校の修学旅行は、新型コロナウイルス感染症対策により行き先を変更したり、日程を短縮したりと各校において学校の実情に合わせた工夫をし、保護者の同意を得た上で9月1日から11月17日までの間に実施されました。

10月17日、鷹巣中学校を会場に「北秋田市・上小阿仁村 理科・社会科発表会」を行い、合わせて70名53題の発表がありました。体育館では、感染防止対策をとった上で秋田大学の協力を得て「おもしろ理科実験教室」を実施し、発表者を中心に実験を楽しみました。

<生涯学習課関係>

10月24日に予定されていた市文化祭については、演示部門と展示部門を中止としましたが、展示部門の代替行事として「みんなの作品展」を市民ふれあいプラザ及び森吉公民館、阿仁公民館を会場に開催しています。

花いっぱい運動推進協議会による「令和2年度北秋田市花だんコンクール表彰式」が10月29日に行われ、市長賞、市議会議長賞、教育長賞など17団体、1個人が表彰されました。

本市ゆかりの直木賞作家である渡辺喜恵子氏の直木賞受賞60周年及びみちのく子供風土記館建設30周年を記念して、「渡辺喜恵子回顧展」を10月11日から11月8日まで開催しました。

県立美術館において開催されている本市ゆかりの画家、戸嶋靖昌氏の「特別展戸嶋靖昌展―焔と闇―」鑑賞会を11月8日、29日に実施し、市民54名が参加しました。

<スポーツ振興課関係>

北秋田市体育協会主催の「第15回北秋田市スポーツレクリエーション大会」が、9月26日の北秋田学童野球オールスターを皮切りに、12月19日までの期間で11団体11競技が開催され、各競技で熱戦が繰り広げられております。

新型コロナウイルス感染症対策により、2020北緯40°秋田内陸リゾートカップ第30回100キロチャレンジマラソン大会は来年に延期となり、第7回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！仙北大会は中止となりました。